

ラリサ・キセレヴァ (Larisa KISELEVA)



配列解析チーム
(テクニカルスタッフ)

○ 9月から CBRCで働き始めました。旅行やチェス、ロシアの古典/近代文学を読むのが好きです。

○ 生物学の出身を生かし、CellMontageの仕事をしています。具体的にはヒトの多様な細胞の種類を特徴づける遺伝子発現プロファイルを作るため、マイクロアレイ実験で使われる細胞や組織の分類をしています。

浅沼 孝夫 (Takao ASANUMA)

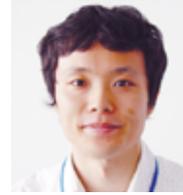


数理モデルチーム
(共同研究：
科学技術振興機構)

○ 出身は八丈島です。(東京都です。念のため) 趣味は映画鑑賞・読書・街歩きです。

○ シグナル伝達を中心としたパスウェイDB：INOHの開発とオントロジーの構築を行っています(数理モデルチームの福田さんとりまとめ)。世界に通用するオントロジーとDBとなるよう日夜奮闘しています。

高田 康利 (Yasutoshi TAKADA)



細胞情報チーム
(共同研究：
サイバーレーザー(株))

○ レーザーの光を見ると、心が癒されます。

○ 糖鎖エンジニアリングPJの枠組みで、サイバーレーザー(株)より参りました。糖ペプチドの構造解析を質量分析のアプローチでハイスループットに行うための、新規固体レーザー光源の開発を行っています。

産総研ベンチャー 株式会社ファームラボ 設立

麹菌ゲノムを扱う国内初のベンチャー、株式会社ファームラボが12/24設立され、数理モデルチーム 産総研特別研究員の熊谷俊高が社長に就任しました。産総研、東北大学、金沢工業大学などから麹菌ゲノム情報に関して技術移転を受けることにより、企業からの研究受託や独自プロセス技術の開発等を進める予定です。これまでCBRCは、産総研 生物機能工学研究部門とともに麹菌のゲノム利用に関し、遺伝子予測技術、DNAマイクロアレイ、遺伝子発現プロファイル解析、代謝パスウェイ予測などの研究開発技術に関する情報基盤の構築を行ってきました。これによって、麹菌のゲノム情報に基づいた新しいバイオプロセスの設計など、麹菌を用いた研究開発のスピードを大幅に早めることができると期待されています。

わが国の食文化で伝統的に使われてきた麹菌は、その安全性と高い酵素分泌能力からさまざまな応用が期待されています。ファームラボでは産総研等で蓄積された技術を応用して、食品や環境をはじめとする様々な分野の研究開発事業を展開します。

お問い合わせ：
tk@fermlab.com

熊谷俊高
株式会社ファームラボ社長



韓国での国際シンポジウム 報告

前号でご案内しました国際シンポジウム「International Symposium on Computational Biology & Bioinformatics」が11/26 韓国慶州で開催され、約200名の来場者を迎え盛況のうちに終了しました。

日本、韓国、シンガポールの研究者12名が研究発表を行い、研究成果の相互理解を深めました。



第2回は今秋東京での開催を予定しており、この国際的なネットワークをますます強固なものとし、研究に生かして行きたいと考えています。

IPAB公開セミナー (CASP6特集) のお知らせ

1/21、NPO 並列生物情報イニシアティブ (IPAB) 公開セミナーが開催されます。

このセミナーは CASP6 特集と銘打たれており、CBRCからCASP6に参加した2チームを代表し、富井・広川 (CBRC-3Dチーム)、野口 (CBRC-DRチーム) が講演します。

この度の好成績につながったタンパク質立体構造予測技術の詳細、どこまで予測が可能となったのか等、直接聞ける格好の機会ですので、是非お出かけください。

日時：1/21 (金) 13:00~17:00

会場：住商エレクトロニクス(株) SSEビル B1

事前参加申込：watada@ipab.org

URL：http://www.ipab.org/